

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
640-8114 和歌山市船場町16
日教組和歌山内
TEL 073-436-6820

日退教和歌山新聞



「挨拶

会長 竹内 孝子

十月に入って急に季節が進みました。夏の疲れが出て体調を崩しやすい時期です。どうかご自愛ください。

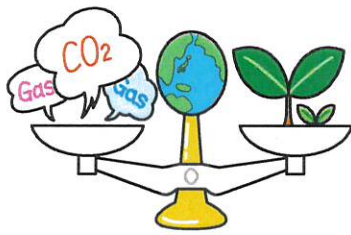
さて、臨時国会が始まりました。岸田首相の所信表明は物価高などに対する経済対策に力点がおかれ、「国葬」や旧統一教会をめぐる問題について真摯に取り組もうとする姿勢はみられません。

「聴く力」をアピールして登場した岸田首相でしたが「国葬」に対する世論には耳を貸しませんでした。「国民に丁寧の説明する」と言いながら、「いつ」「だれに」「丁寧」に説明したのでしょうか。そもそも、ただ同じ文言を繰り返すのを「丁寧」とは言いません。

「国葬」での菅前総理の弔辞が注目を浴びました。内容の是非は横に置くとして心のこもった演説でした。菅さんは、なぜ、総理の座にあるときに率直に自らの言葉で語らなかったのでしょうか、その答えは一言で言えば「総理」としての菅さんの目は国民に向いていなかったといひたいでしょう。

政治家にとって自分を応援してくれる支援者は大切でしょう。しかし、選挙で選ばれた国会議員は国民の代表者です。ましてや一国の総理たるものが安倍元首相のように「お友達内閣」と揶揄されるような政治を私物化することは許されなません(岸田首相も似てきましたね。)

「国葬」によって安倍政権の功績ばかりが称えられてしまいました。モリカケ・桜問題の真相解明や安倍元総理と旧統一教会との関連については是非とも臨時国会で明らかにして欲しいものです。



旅の目的や楽しみは旅それぞれ

宮田 紀美子

旅の目的や楽しみは人それぞれと家族以外の方と旅行するようになって思うようになりました。

社会人になってすぐ素敵な出会いがあって北海道に連れて行ってもらったことがあります。わたしにとって北海道も飛行機に乗るのもレンタカーで走るのも歩きながらトウモロコシをかじるのも全部初めて、そういうえばタンシチューなるものを食べるのも初めてでした。こんな世界があるのかと思ったことを覚えています。家族という一つの価値観の中では経験することのない景色、味、楽しみ…。あれから約四十年素敵な出会いを重ね、さまざまな旅に出ました。修学旅行(生徒だけでなく先生方の素顔へ化粧を落としたり顔だけではありません)をのぞくこともできました、職員旅行教師としての心構えを学べる場もありました、出張一人で旅する楽しみを知りました、そして友人たちとの旅行。目的も楽しみもまったく違う旅、しかし振り返ればいずれも今のわたしを作る旅でした。

人は多様な価値観に触れてこそ成長があるのではないのでしょうか。そして旅は人の成長を楽しく促してくれる絶好の場だと思います。

四十年前に始まったわたしの多様な旅の世界。今、友人たちとの旅は互いの都合(コロナやら介護やら)を考えたつづき継続中、また二十年ほど前から行くようになった一人旅に出る機会が退職してからは増えてきました。この一人旅、コロナ禍においてはおススメです。宿泊するのも食べるのも一人、神社仏閣、博物館をまわるのも一人、感染の機会がぐっと抑えられます。そのうえわたしは人混みが苦手、人っ子一人いない多賀城址でのんびり、丹鶴城址でまったり、秋篠寺の境内で伎芸天の美しさにつとつと、会津若松の阿弥陀寺で斎藤一のお墓を見て明治維新を思い、天檜丘で大和三山や入鹿の首塚を眺めながらスイー



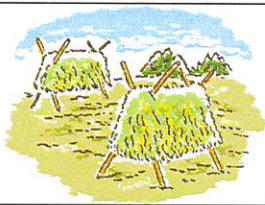
秋篠寺



アラスカ州の氷河の上

ツといった具合。旅から戻るといろんなことがたくなりします。たとえば斎藤一のお墓を見たあとは新撰組の資料を読んだり、多賀城から帰れば大伴家持の歌を味わったり蝦夷関連の本を読み返したり、戻ったばかりなのに芭蕉のように次はあそこに行こうと計画したり(芭蕉さんすみません！文才はともかく気持ちは同じです)。これからも体を大切にしてみなさまとの旅も一人旅も楽しんでいきたいと思っています。

最後に、「旅の目的や楽しみは人それぞれ」とこの文章の初めに書きましたが訂正したいと思います。「旅の目的や楽しみは旅それぞれ」



日退教和歌山新聞

日本退職教職員協議会和歌山
日退教和歌山
640-8114 和歌山市船場町16
日教組和歌山内
TEL 073-436-6820

「協力お願い！」

鈴木達也

今年の四月から縁あって日教組和歌山の事務所で勤務している。仕事は「オルガナイザー」。確か『宇宙戦艦ヤマト』にそんなものが出てたのでは？と思った貴方、それは「アナライザー」で、「分析する者」という意味である。私の場合は「オルグをする者」ということになろうか。つまりは若い組合未加入の先生方に、組合への新規加入を学校を廻りながらお願いしているのである。

これがけっこう難しい。学校を訪問して未加入の先生方に声を掛けるのだが、彼・彼女らから見れば「どこぞのオヤジが妙なことを言ってくる」と、どうもうさん臭く見えるらしい。それよりも「組合ってなんですか？」という「未知」の反応が寂しい。「回避」の反応もあるがそれならまだましだ。「組合」について少しは知っているのだから。知らないという人には「社会科の公民科で習ったでしょう」と教師のしゃべり方と言うのだが、反応は鈍い。

組合の加入率が低迷すれば活動もそれに比例する。そして次第に組合の存在価値が下がることになる。深刻な問題である。なんとかして組合に入ってもらえるいい方策はないものか。

そこで日退教のみなさまにお願いです。未だ組合（もちろん日教組です）に入っていない先生方を紹介してもらえないでしょうか？ 少しでも組合に入る先生が増えれば、それだけ学校は活性化すると思えますので、なにごとぞよろしくお願いします。

行事の予告

来年1月をめどに「高齢者医療制度」の改正について学習会を予定しています。

75歳以上の人が、所得に応じて1割負担が2割負担になるなどの問題を解説していただけます。ぜひご参加を！



県知事選挙・

統一地方自治体議員選挙

に関するお知らせ

来月（十一月）に行われる和歌山県知事選挙において、元国民民主党前衆議院議員であった岸本周平さんが今回の県知事選に無所属で立候補することになりました。

日退教和歌山としても今まで推薦してきた人でもあり、和歌山県の発展に尽力してくれることを期待して、先月（九月）二十七日の第二回幹事会で岸本周平さんと政策協定を結び推薦することを決めました。

また、来年四月に行われる統一地方自治体議員選挙において、日教組和歌山の組織内議員で日政連議員でもある県会議員の藤本まり子さんと同じく日政連議員で市会議員の山本ただすけさん、兩人を日退教和歌山として、九月二十七日の第二回幹事会で推薦することを決めました。

以上選挙についての推薦の決定を会員のみなさまにお知らせします。

原稿の募集



会員のみなさまからの日退教新聞への原稿を募集しています。今日この頃という日常の様子や旅行記（コロナ禍で難しい環境ですが）、世の中の出来事に一言、趣味について、短歌・俳句、グループのCM、会員さんへの協力要請などなど、何でも結構ですので原稿を投稿してください。よろしくお願いします。

まだまだ参加者募集

①グランドゴルフ

身体を動かしませんか！
広いせせらぎ公園の芝生で。
10月25日（火）午前中
申込〆切 10月16日（月）

②絵画教室

楽しく水彩画を！
中学生に戻って描いてみませんか
申込〆切 11月5日（土）

③「クロスワードパズル」

頭の体操です。どしどし応募してください。
幹事の方もOKです。
応募〆切を10月10日から15日まで延長します！
（消印有効）

先日、配布しましたパンフをもう一度見てください。

老人をなめるな

（幻冬舎新書）
下重暁子著

仕事部屋を借りようとした筆者は86歳という年齢を言うのと立て続けに断られ、啞然としたという。「なぜ日本は高齢者にとって住みづらくなったのか」「少子化でこれから否応なく年寄りが社会の担い手になるのに、年寄りが生きにくい世の中にしようとする」と世の風潮にモノ申し、高齢化社会が抱える難題の打開策を提言している。

今の世の中、何だかおかしいねと感じているあなたにお薦めの一冊です。読まれた方、感想を送ってくださいと嬉しいですよ。

